



休眠預金を活用した 「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」

説明会 @山口県

① 8月19日(水)

19:00~20:30

② 8月20日(木)

13:30~15:00



このたび、いわゆる休眠預金を活用し、新型コロナウイルスの感染拡大により新たに生じた地域課題・社会課題の解決を目指す活動を対象に助成を行う「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」について、山口県でも助成の公募が行われます。そこで今回は、休眠預金活用助成をめぐる制度のことや、公募される助成プログラムのことに関する説明会を下記の通り開催いたします。

◆説明会への参加方法(1・2のどちらかを選択)

1. オンライン会議ツール「Zoom」で参加
2. 下記の会場への来所で開催(各回来場は10名まで。両日とも同会場)
会場:パルトピアやまぐち2F 第1会議室(山口市神田町1-80)

◆説明会の内容

1. 休眠預金を活用した助成金の制度について
2. 「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」プログラムについて

◆説明会の参加対象

山口県内のNPO、コミュニティ活動団体、本助成に関心のある方 など

◆説明会の申し込み期限

8月18日(火)13:00まで

Zoom接続等に関する詳細情報は、開催の前日までにご案内します

<助成プログラムの特徴>

- ◆助成額、助成期間 1団体あたり、100万円~500万円(1年間)
- ◆助成採択数 3~6団体程度
- ◆助成の公募内容について

助成対象となるテーマ・課題

①外国人の就労・生活支援

<課題例>

- ★コロナの影響で勤め先企業が経営悪化、解雇や減給により経済的に困窮
- ★行政や地域からの支援サービス等に関する情報が周知されず、孤立化

②子ども・若者・家庭支援

<課題例>

- ★コロナの影響で、安定した学習機会や食事が得られない子どもが増加
- ★片親家庭が困窮化し、親の再就職などがままならず、孤立化

③地域コミュニティ支援

<課題例>

- ★「3密」回避のためにサロン活動などができず、住民の交流機会が減少
- ★自宅での自粛を余儀なくされ、心身の健康状態を損ねた高齢者が増加

◆主催

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム
(山口県エリア担当:特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21)

◆問い合わせ先 担当:伊藤

※基本的には、メールでお問い合わせください。
電話の場合、すぐに対応できずに折り返しご連絡さしあげることがあります。
メール:yamaguchikenminnet@gmail.com
電話:083-921-2437、090-2868-6211

◆説明会の申込み方法

1. 専用フォームから
<https://forms.gle/YUEq55xXW5hNqrk68>



2. 電子メールで
yamaguchikenminnet@gmail.com

いずれかの方法で、下記の事項を明記しお申込みください。

参加者氏名、所属団体名、電話番号、メールアドレス、参加希望日、参加希望方法(Zoom・来所)、質問したいこと

コンソーシアム構成団体

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
公益財団法人ふるさと島根定住財団
特定非営利活動法人岡山NPOセンター
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21